

販売店募集中

検知漏れがない

誤報が少ない新型離床センサー

開発品『安心・楽楽 見守りくん』離床・点滴監視通報システムをご紹介します。

近年、高齢者の増加に伴い特別養護老人ホーム等の施設も増設されています。こうした施設で、足腰の弱い方や徘徊癖のある方の事故防止のため欠かせないのが、離床・徘徊、監視通報装置です。

一番の特徴

布団の下に敷いたアンダーマットセンサーが、ベッドから降りようとする人を検知、通報します。

『安心・楽楽 見守りくん』離床・点滴監視通報システムの特徴

アンダーマットセンサー

患者様の不在を感知！
徘徊や事故の防止に！

※特許出願中



- ・マットレスの下に敷くだけの簡単設置
- ・マットレスの下なので衛生的
- ・床置きタイプではないので、お掃除の邪魔になりません
- ・厚手のマットレスにも対応

コールボックス

異常検知で即通知！
各センサー情報を総合管理！



- ・ほとんどの既存システムで使用可能
- ・縦型・横型のナースコール・ボタンに対応
- ・無線タイプもラインナップ、病院以外の施設やご家庭でも利用可能
- ・オプション類もこれ一台で一括管理

無線発信

ナースコールのない
介護施設やご家庭での
ご使用に最適！



異常を検知

ナースコール

【従来製品との違い】

「安心・楽楽 見守りくん」

従来の床置きマット

○ 検知漏れがない、ベッドから降りる場所を選ばない（厚いマットレスや体圧分散に対応）

● ベッドから降りる場所が限られる ↑
（マットを踏むことで検知、踏まないと見逃す）

○ 片付ける必要がない、掃除が楽です

● 毎日の掃除の度に片付けなければならない

○ 自動監視スタート（B設定：ベッドに戻れば自動的にスイッチが入る）手間がかからない

● 使用する度に、スイッチを入れる必要がある

○ 一度の設定で24時間・365日、自動的に監視

→スイッチの入れ忘れ！

○ 見えないセンサー

● 見える

点滴センサー

認知症患者が増え点滴の監視が必要となっています。当社の点滴センサーは小型のセンサーを使用し、点滴部位を選ばない利点があります。離床・点滴の同時監視も可能です。点滴は同時2箇所以上、増設アダプター使用により最大6箇所又は6人（離床監視なし）の監視も可能です。

その他、部屋から出るときの監視として赤外線センサーによる徘徊監視や、ナースコール装置がない家庭や施設などでは無線による通報ができます。また、本装置は、制御部とナースコールの装置とが回路的には接続されておらず、ナースコール呼出しボタンを機械的に押す方式で他社のナースコール装置に支障を与えない特徴もあります。

近日発売予定 **コードレスの離床専用監視通報装置**

センサー部とコールボックスを無線で接続

線が邪魔にならずベッドの移動が容易